科目名 Subject	ファッション文化史 History of Fashion and Art Culture			教員名	青木　和子	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	講義	時間	30時間	
実践的教育	○					

主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	○			◎	○	

科目の概要	美容文化におけるファッションに関わる領域は、いつの時代でも実生活に深く結びついているものであり、人が生きるためになくてはならない文化である。世界の服飾史や日本の服飾史は服飾デザインのための豊かな発想源であるから、美道五大原則を基礎に移り変わるファッションを通して社会的・文化的な表象を理解し、人間性への理解を高め、美しく生きることの能力を養う。
授業方法	対面授業 ただし、状況によりオンライン授業（Zoom）
授業の目標	西洋服飾史の概要が説明できる。 日本服飾史の概要が説明できる。 服飾史を通して、社会的・文化的な表象が理解でき説明ができる。
時間外学習（予習・復習）	各回の予習・復習を1時間程度実施する。

教科書・教材		
	教科書	『文化論』日本理美容教育センター（2021）
	教材	配布プリント
	使用設備・備品	PC、プロジェクター他
	参考文献	授業時に説明

評価方法	平常点40%、各回の課題提出60%
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。
学生へのフィードバックの方法	
	提出課題内容により、全体や個人に向けて適宜説明を行います。
履修上の注意	各回の授業態度と課題提出は重要視します。
本科目履修と関連する資格	資格名　フォーマルスペシャリスト・ブロンズライセンス

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション	授業方針や授業内容を理解し、準備することができる。	次回の授業の準備をする。60分。
第２回	日本の縄文時代から古代までの服飾史を学ぶ	日本の縄文時代から古代までの服飾を理解し説明することができる。	次回の授業について教科書や参考文献で予習をする。60分。
第３回	日本の中世から近世Ｉまでの服飾史を学ぶ	日本の中世から近世Ｉまでの服飾を理解し説明することができる。	授業について教科書や参考文献で予習・復習をする。60分。
第４回	日本の近世Ⅱの服飾史を学ぶ	日本の近世Ⅱの服飾を理解し説明することができる。	授業について教科書や参考文献で予習・復習をする。60分。
第５回	日本の近代から現代までの服飾史を学ぶ①	明治大正時代の服飾を理解し説明することができる。	授業について教科書や参考文献で予習・復習をする。60分。
第６回	日本の近代から現代までの服飾史を学ぶ②	昭和初期の服飾を理解し説明することができる。	授業について教科書や参考文献で予習・復習をする。60分。
第７回	日本の近代から現代までの服飾史を学ぶ③	日本の1950～1960年代の服飾を理解し説明することができる。	授業について教科書や参考文献で予習・復習をする。60分。
第８回	日本の近代から現代までの服飾史を学ぶ④	日本の1970～1980年代の服飾を理解し説明することができる。	授業について教科書や参考文献で予習・復習をする。60分。
第９回	日本の近代から現代までの服飾史を学ぶ⑤	日本の1990～2000年代の服飾を理解し説明することができる。	授業について教科書や参考文献で予習・復習をする。60分。
第１０回	西洋の古代から中世までの服飾史を学ぶ	西洋の古代から中世までの服飾を理解し説明することができる。	授業について教科書や参考文献で予習・復習をする。60分。
第１１回	西洋の近代服飾史を学ぶ	西洋の近代の服飾を理解し説明することができる。	授業について教科書や参考文献で予習・復習をする。60分。
第１２回	西洋の現代服飾史を学ぶ	西洋の現代の服飾を理解し説明することができる	授業について教科書や参考文献で予習・復習をする。60分。
第１３回	ドレスコードを学ぶ	現代の「礼装」の意義とその種類を理解し説明することができる。	授業について教科書や参考文献で予習・復習をする。60分。
第１４回	車いす利用者のための着物着付け	「美齢学」「ジェロントロジー」の考え方を理解し実践することができる。	授業について教科書や参考文献で予習・復習をする。60分。
第１５回	総復習	日本と西洋のファッション文化史を理解し説明することができる。	授業について教科書や参考文献で復習をする。60分。